

案内

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切って下さい。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

前期チャペル・ウィーク

各方面で活躍されている著名なクリスチャンの方をお招きして礼拝でお話をさせていただく1週間です。礼拝時間も通常より10分延長して実施します。是非ご出席ください。

相模原キャンパス(月～土 10時25分～11時5分)

- 5月21日(月) 西谷 牧人(東京交響楽団首席チェロ奏者)
22日(火) ホルヘ・アルベルト・オルテガ(元サッカーアルゼンチン代表選手)
23日(水) 高浪 晋一(合唱指揮者・指導者、日本基督教団讃美歌委員)
24日(木) アンディ中嶋 史人(米国ホープ・カレッジ准教授、Japanese Worship Service 担当牧師)
25日(金) 近藤 勝彦(東京神学大学学長・教授)
26日(土) 潮田 花枝(特別養護老人ホーム「愛泉苑」施設長、本学経済学部卒)

青山キャンパス(月～金 10時25分～11時5分)

- 5月21日(月) 市川 益子(社会福祉法人こひつじ会創立者)
22日(火) 奥澤 行雄(奥澤行雄税理士事務所長、チャイルドファンドジャパン監事)
23日(水) 川中子 義勝(東京大学大学院・総合文化研究所教授)
24日(木) 鈴木 実(日本聾話学校教頭)
25日(金) 公文 宏(学校法人女子学院理事長、元大蔵省勤務、元国土事務次官)

夕礼拝(第二部礼拝)(火 19時25分～20時5分)

- 5月22日(火) 柏 明史(清水ヶ丘教会副牧師、本学経済学部卒)

青山スタンダード科目「キリスト教理解関連科目」特別講座

チャペル・ウィークでの礼拝に引き続き、「讃美歌 体験講座」が持たれます。是非ご参加下さい。

- 日時 5月23日(水) 11時15分～12時30分
場所 相模原キャンパス ウェスレー・チャペル
講師 高浪 晋一

青山学院大学礼拝週報

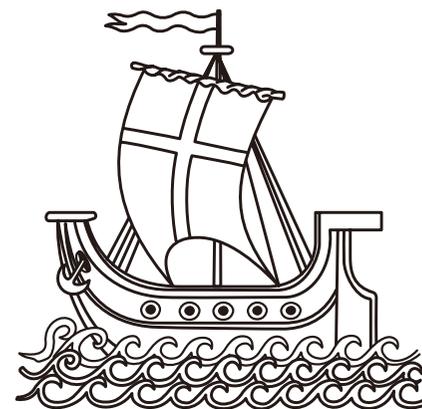
2012. 5. 14.
No. 7

復活節第6週

キリスト教のシンボル [6]

「船」

聖書の中には、船にまつわる物語や出来事が多く記されています。よく知られているところでは、ノアの箱舟(創世記6～10章)、船から海に投げられて大魚に食べられたヨナの物語(ヨナ書)、イエスが船の上から嵐を静めた出来事(マタイ8章、マルコ4章、ルカ8章)などがあります。



「ノアの箱舟」物語では、邪悪な人間の様子を心を痛めた神が、すべてを清算しようと、原初の混沌と闇と深淵を引き起こします。その時、義人ノアとその家族と動物たちの乗り込んだ舟だけが、大海を漂流して助かることとなります。しかしながら、それは、「漂う箱」にすぎず、すべてを神の手に委ねるほかありませんでした。

「船」は、しばしば「教会」のシンボルとして用いられてきました。十字架の帆を掲げ、ただ神の御手に委ねて荒波を進むのが、神の民の教会だからです。

今年度の主題聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、
忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

(ローマの信徒への手紙 第5章3、4節)